

やってみなはれ！アフリカで

**アフリカ・ソーシャルビジネススクール
2013
【募集要項】**

募集期間：2013年4月1日（月）～2013年4月21日（日）

認定 NPO 法人ミレニアム・プロミス・ジャパン

2013年4月1日（月）

1. アフリカ・ソーシャルビジネススクール概要

「アフリカ・ソーシャルビジネススクール」は、アフリカの社会経済の発展にビジネスを通して貢献したい若者のビジネスアイデア/ビジネスプランを実現するための支援を行います。特に“ソーシャルビジネス¹”と呼ばれるような現地の人々が抱える社会的課題の解決・改善を志向するビジネスアイデアを優先的に支援します。

審査に合格した志のある若者は、現地においてビジネスアイデア/ビジネスプランの実現可能性（F/S：Feasibility Study）調査やパイロットプロジェクトを実施し、ビジネスプランを作成（精緻化）します。²

第一回となる今回は、東アフリカのウガンダ共和国においてビジネスを始めたいという志のある方々の募集を優先いたします。

アフリカ・ソーシャルビジネススクールに参加するメリット

- ビジネスを通して、アフリカの社会経済の発展に貢献するきっかけを得られる。
- 密かに温めていたビジネスアイデアを事業化するための支援を得られる。自分が描いていたビジネスプランを第三者の支援を得ながら客観的に検証することができる。
- 審査委員からの専門的知見に基づくアドバイスを得られる。（必要に応じて）関係者が有する幅広い人的ネットワークから適切な支援者の紹介を受けることができる。
- 現地滞在にかかる基本的な費用について支援を受けることができる。
- アフリカにおいて活躍することを志す仲間に出会うことができる。
- 本事業に参加することで、自らのビジネスに関する広報支援を受けることができる。

／等

2. 主催・協力

主催	特定非営利活動法人(認定 NPO 法人)ミレニアム・プロミス・ジャパン
協力	サラヤ株式会社／サラヤ・イーストアフリカ
後援	独立行政法人国際協力機構（JICA） 独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）

¹ 「ソーシャルビジネス」とは社会的な課題をビジネスを通して解決・改善する取組の総称である。

² 本企画による支援期間終了後については、必要性及び事業の実現可能性を鑑みて、サラヤ（株）が継続的な支援を実施するか否か適宜判断する。

3. 募集分野

アフリカ・ソーシャルビジネススクール 2013 では、下記の分野のビジネスアイデアを優先的に募集します。

- ①農業
- ②アパレル
- ③保健・衛生
- ④教育
- ⑤文化・芸術

4. 募集人数

3名程度を予定しています。

(適格者がいないと判断した場合は最終選考者はなしとする可能性もあります。)

5. 応募資格

応募資格は下記の通りです。

- ①アフリカ（ウガンダ）において実施を想定しているビジネスアイデアを有すること
- ②年齢 20 歳～35 歳程度
- ③健康状態が良好であること
- ④F/S 調査を実施する上で意思疎通に十分な英語能力があること（TOEFL580 点・TOEIC840 点程度／原則、英語能力が十分であることを証明する資料を提出すること）
- ⑤アフリカ（ウガンダ）での生活経験を有することが望ましい
- ⑥普通自動車／普通自動二輪免許を有することが望ましい

6. スケジュール

	時期	項目
1.	4月1日	募集開始
2.	4月21日	募集締切
3.	4月下旬	書類選考 *5名程度まで絞り込み。全ての方に原則、メールにて結果をご案内します。
4.	5月中旬	プレゼン選考会開催
5.	5月下旬	最終候補者決定 *3名程度を選出。全ての方に原則、メールにて結果をご案内します。
6.	6月上旬	最終選考者発表 *TICAD Vにて発表予定です。
7.	7月中旬	国内研修 *事前に簡単な国内研修を実施します。
8.	9月-10月	現地派遣開始・・・6か月間派遣予定
9.	11月中旬	中間報告会開催
10.	2月中旬	最終報告会開催 *最終報告会は第三者参加型の開催になる可能性があります。

7. 選考体制

応募者の選考については、下記の体制にて実施いたします。

書類選考	【事務局】 ・認定 NPO 法人ミレニアム・プロミス・ジャパン ・サラヤ（株）／サラヤ・イーストアフリカ／等
プレゼン選考	【審査委員】 ・大阪大学大学院 教授 中村安秀 ・サラヤ（株） 代表取締役 更家悠介 ・認定 NPO 法人ミレニアム・プロミス・ジャパン 理事長 鈴木りえこ 【顧問】 ・前ユネスコ事務局長・（公財）日仏会館 理事長 松浦晃一郎 氏

8. 支援内容・現地での処遇

本企画における支援内容・現地での処遇については下記の通りです。

- ・ 審査に合格した候補者に対する支援内容としては、予防接種費用、渡航費、生活費、調査費用、各種保険等の各種費用と現地活動にあたってのメンタリングを実施いたします。
- ・ なお、現地での調査費用は1人あたり最大で3万米ドルを想定しています。
- ・ 提案いただくビジネスプランとこれに基づく F/S 調査やパイロットプロジェクトの実施内容を踏まえ、妥当と思われる金額を提示していると判断されなければ原則、採択を受けることはできません。
- ・ メンタリングについては、サラヤ・イーストアフリカ代表・宮本氏及び審査委員紹介のサポーター等による支援を必要に応じて提供することを予定しています。
- ・ 最終選考に残った方の現地での立場は、原則、ビザの関係から現地企業（サラヤ・イーストアフリカ等）と短期雇用契約を結ぶことを前提とします。
- ・ 本企画参加者（参加候補者）への資金的支援の項目詳細は下記の通り想定し、下記費用はサラヤ（株）がスポンサーとして支援します。本企画への参加にあたって必要になる費用について1人あたり最大5万米ドル（F/S 調査等費用を含む）の支援を想定しております。

時期	項目
国内事前準備	予防接種 (黄熱病、A/B 肝炎、狂犬病、腸チフス、破傷風)
	駐在員保険(6か月)
	航空券(往路)
	渡航準備費用
現地準備	駐在員ビザ(3年)
現地滞在期間	給与 (サラヤ・イーストアフリカ勤務のケースを想定)
	住居費
	光熱費
	通信費
	F/S 調査等費用 *1人あたり最大3万米ドル
帰国時	航空券(復路)

* プレゼン選考に参加される方については参加交通費として1人あたり最大5万円まで支給いたします。

9. 選考方法

事務局及び審査委員が主に以下のような選考基準において審査し合格者を選定します。

- ・応募者の適格性
- ・F/S 調査・パイロットプロジェクトの実現可能性
- ・想定されるビジネスの現地社会における妥当性
- ・想定されるビジネスのインパクト（雇用創出や開発課題の側面から）
- ・想定されるビジネスと F/S 調査・パイロットプロジェクトの整合性 / 等

* F/S 調査・パイロットプロジェクトの実施にかかるシニア世代や外部機関等との連携が決まっている場合やプレ F/S 調査結果を提示できる場合には加点対象とする予定です。

10. 募集期間

2013 年4月1日(月)～2013 年4月 21 日(日)17:00 必着

11. 応募方法

ミレニアム・プロミス・ジャパンのホームページ (<http://millenniumpromise.jp/asbs/>) から募集要項を確認の上、応募申請書をダウンロードし、必要事項を記入後、ミレニアム・プロミス・ジャパンまで郵送又は EMAIL にて送付下さい。

12. 問合せ先

- ・ 本申請にあたってのご質問・ご相談も受け付けています。
- ・ 下記までお気軽にお問い合わせください。

特定非営利活動法人(認定 NPO 法人)ミレニアム・プロミス・ジャパン
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-6 ガーラ本郷三丁目 901 号
TEL:03-5842-2801 EMAIL: asbs@seagreen.ocn.ne.jp

以上